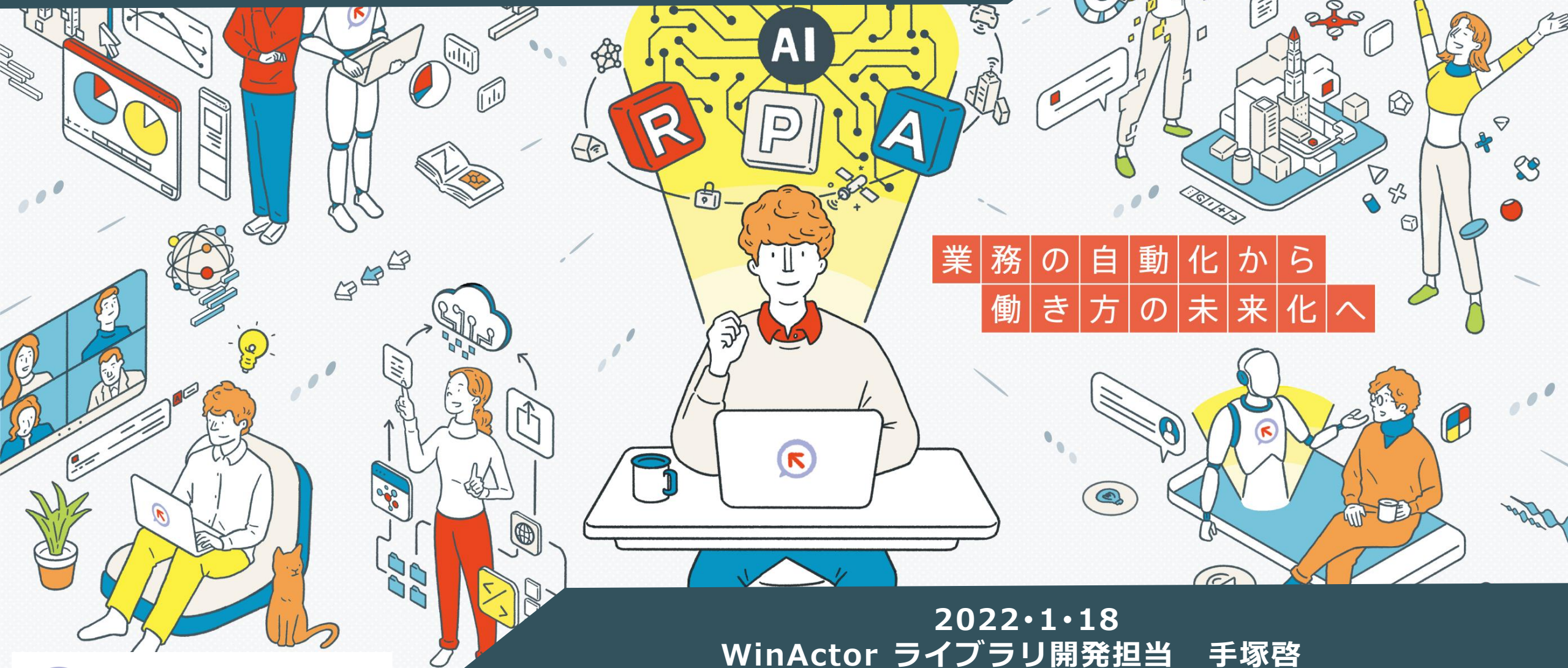


# CSVを扱うライブラリについて



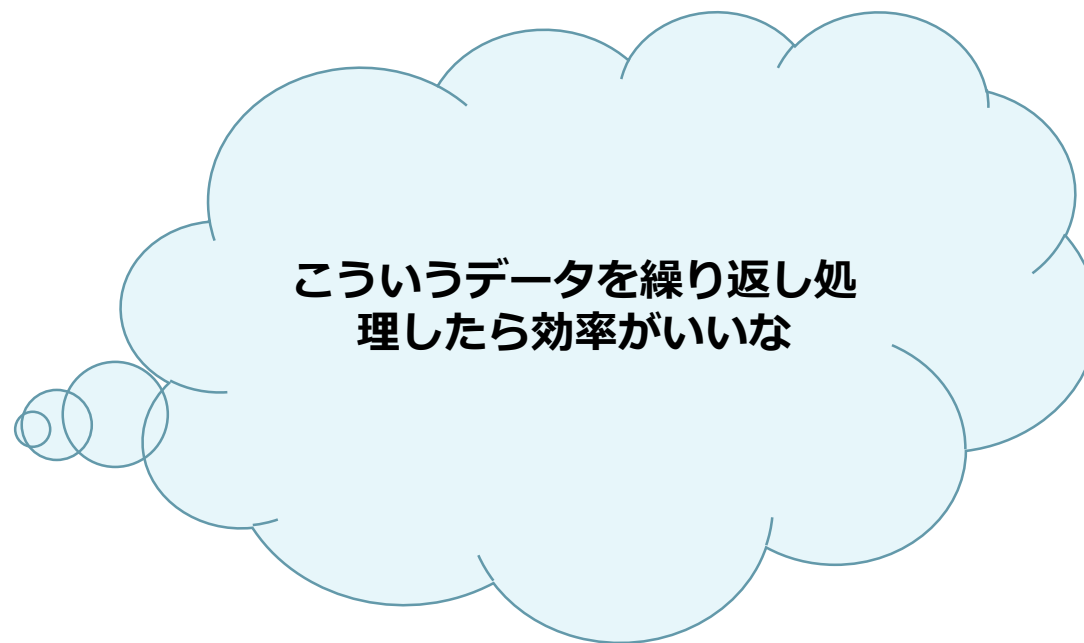
業務の自動化から  
働き方の未来化へ

2022・1・18

WinActor ライブラリ開発担当 手塚啓

- こういうことを考えがち

No	値
1	AAAA
2	BBBB
3	CCCC
4	DDDD
5	EEEE
6	FFFF
7	GGGG
:	:
:	:



- WinActorで扱える、繰り返しに使いやすいデータ

## Excel

仕事で扱われる機会が多いため、非常によく使う

## 1次元、2次元配列

WinActorが内蔵している機能  
使いこなせると万能

## CSV

Excelでもサポートされている形式  
カンマ区切りのシンプルなデータ

## JSON

HTTPを使うときによく使われる形式  
それなりに知識が必要

今回はこれ

# CSVファイルとは

- CSV(Comma Separated Values)は、カンマ区切りのデータの呼称
- テキストエディタでもかんたんに作れる
- Excelでもサポートされている

→加工しやすい&最終的に見やすい万能なデータ形式

項目1,項目2,項目3  
AAA,BBB,CCC  
PPP,QQQ,RRR  
XXX,YYY,ZZZ

テキストエディタでみると  
シンプルなデータ

	A	B	C
1	項目1	項目2	項目3
2	AAA	BBB	CCC
3	PPP	QQQ	RRR
4	XXX	YYY	ZZZ

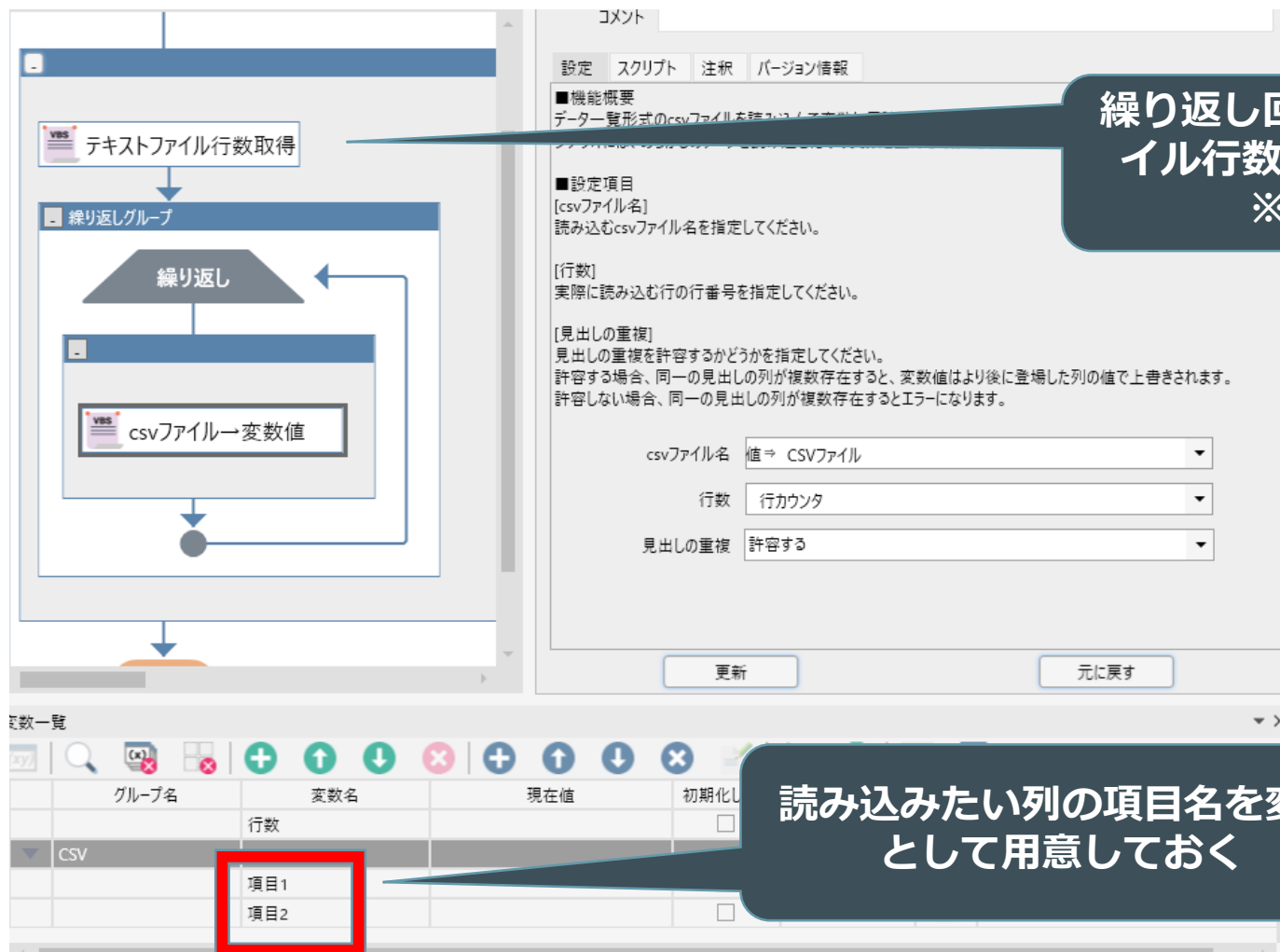
Excelでみるときれいな見  
た目になる



# WinActorでCSVファイルを扱う方法①

- 「csvファイル→変数値」ライブラリを使って読み込むことが可能

項目1,項目2,項目3  
AAA,BBB,CCC  
PPP,QQQ,RRR  
XXX,YYY,ZZZ



The screenshot shows the WinActor configuration interface. On the left, a flowchart shows a loop group containing a 'csvファイル→変数値' (CSV File to Variable Value) action. On the right, the configuration panel for this action is visible, with fields for 'csvファイル名' (CSV File Name), '行数' (Number of Rows), and '見出しの重複' (Duplicate Headers). Below the configuration panel is a table listing the variables created from the CSV file.

グループ名	変数名	現在値	初期化し
CSV	行数		
	項目1		
	項目2		

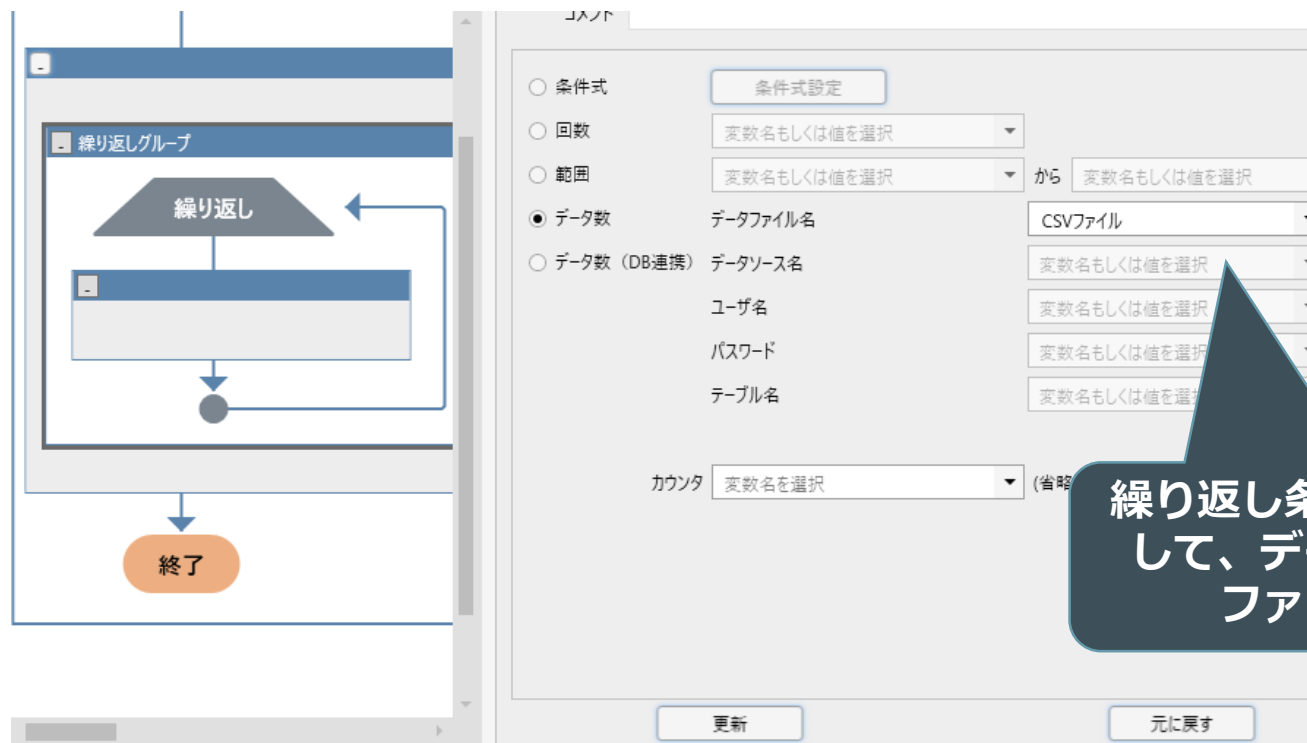
繰り返し回数は「テキストファイル行数取得」で取得できる  
※1～取得行数

読み込みたい列の項目名を変数として用意しておく

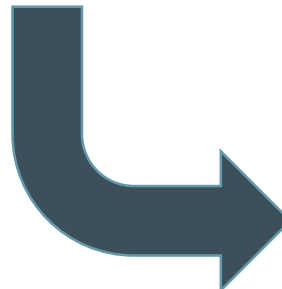
# WinActorでCSVファイルを扱う方法②

- 順番に読み込むだけなら「繰り返し」グループだけでも実現できる

項目1,項目2,項目3  
AAA,BBB,CCC  
PPP,QQQ,RRR  
XXX,YYY,ZZZ



繰り返し条件を「データ数」にして、データファイルにCSVファイルを指定する



変数一覧

グループ名	変数名	現在値	初期化し
CSV	項目1		<input type="checkbox"/>
	項目2		<input type="checkbox"/>

読み込みたい列の項目名を変数として用意しておく

# どういったところが便利？①

- 項目の追加・削除をしてもシナリオにほとんど影響がないので、**シナリオの改造がしやすくなる**

この項目も欲しいな

項目1,項目2,項目2-2,項目3  
AAA,BBB,111,CCC  
PPP,QQQ,222,RRR  
XXX,YYY,333,ZZZ



グループ名	変数名
▼ CSV	項目1
	項目2
	項目2-2

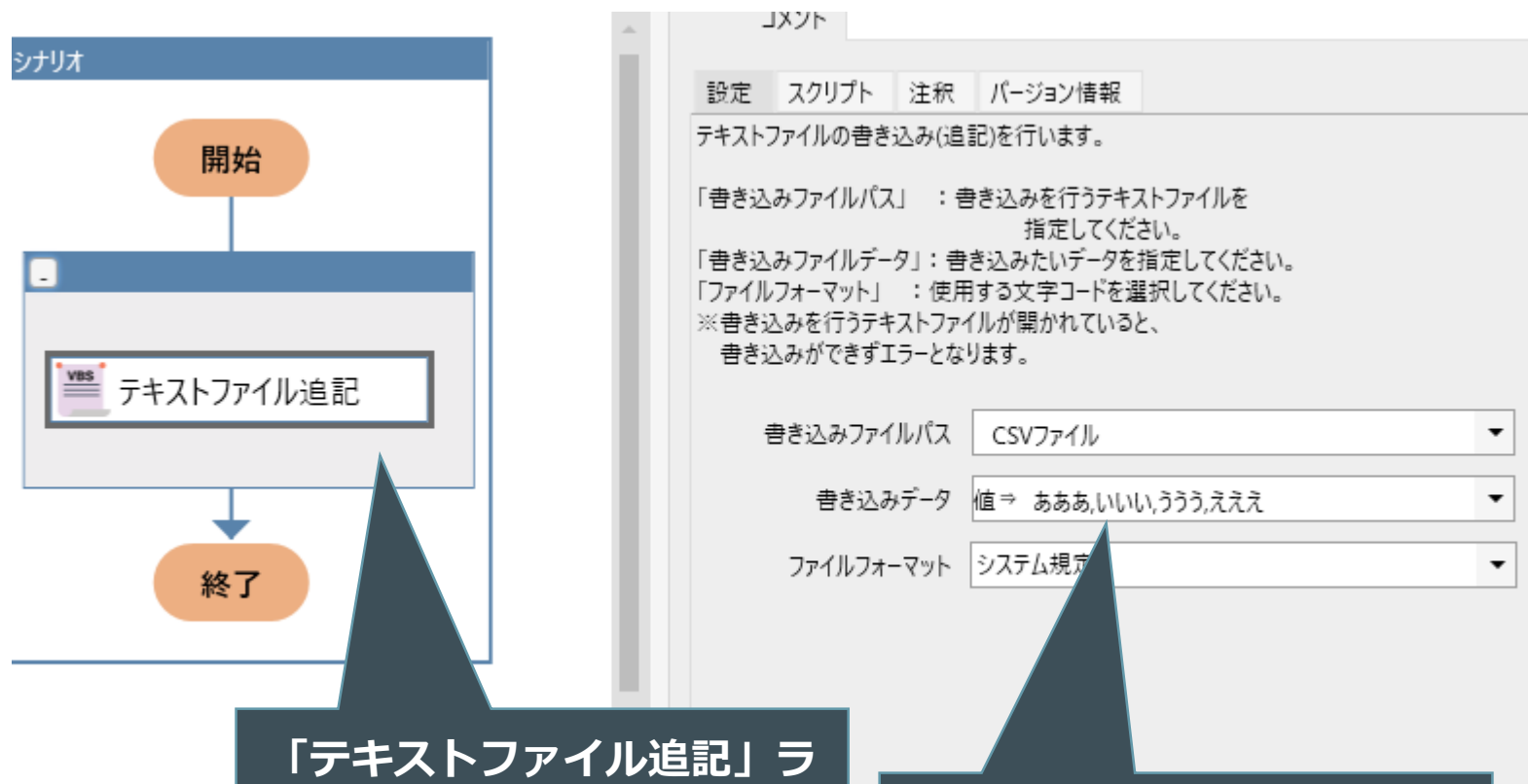
対応する変数を追加すれば  
OK

# どういったところが便利？②

- テキストファイルとしても扱えるので、編集が楽

項目1,項目2,項目2-2,項目3  
AAA,BBB,111,CCC  
PPP,QQQ,222,RRR  
XXX,YYY,333,ZZZ  
あああ,いいい,ううう,えええ

データを追加したいな



「テキストファイル追記」ライブラリでもデータ追加できる

書き込みデータの作成には「文字列の連結」ライブラリがおすすめ



WinActor®はNTTアドバンステクノロジーの登録商標です。